

「体外循環技術」 投稿・執筆規定

[2021年7月1日 改定]

- 『体外循環技術』では、体外循環技術、心臓血管外科手術、それに関連する生体計測、機器の安全管理および開発に関する総論、原著論文、研究論文、研究速報、技術開発、症例報告、技術報告、教育・安全など、他誌に未発表の和文原稿（英語は原著のみ）を掲載します。
- 投稿は、共著者を含め原則として本会員とします。ただし、依頼原稿の場合はこの限りではありません。
- 投稿原稿の採否は、編集会議で討議して通知します。また、編集規定に従い、原稿の加筆、訂正、削除などのお願いをすることがあります。
- 原稿提出の基本
 - 論文の文字数は9,200字以内を推奨し、図表1枚につき約400字を減じてください。総説、原著は編集部までご相談ください。
 - 原稿の大きさは、A4判（縦）横組みで1行32字×25行（800字）とします。
 - 提出原稿は、原則として漢字混じりひらがな日本語で、常用漢字および現代かなづかいを使用し、フォントはすべてMS明朝体にしてください。
 - 図表の合計は10点以内を目安にしてください。
 - 提出書類
 - 原著論文以外
 - 論文全体の印刷された原本 1部
 - 論文、図表データを記録したCD-RまたはDVD-R
 - 「体外循環技術」進行表
 - 原稿投稿時チェックリスト（共著者2名以上の署名と印鑑）
 - COI開示申告書
 - 原著論文
 - 論文全体の印刷された原本 1部
 - 印刷原本のコピー 2部
 - 論文、図表データを記録したCD-RまたはDVD-R
 - 「体外循環技術」進行表
 - 原稿投稿時チェックリスト（共著者2名以上の署名と印鑑）
 - 誓約書（自筆署名と印鑑）
 - 同意書（共著者全員の同意署名と印鑑、FAXも可）
 - COI開示申告書
- 「体外循環技術」進行表、原稿投稿時のチェックリスト、誓約書、同意書、COI開示申告書は当学会ホームページの「学会誌」からダウンロードしてください。
- 投稿原稿の1頁目には、次の事項を記載した表紙を付けてください。記載は、日本語と英語の両方で、項目ごとに日本語の下に必ず英語で記載してください。
 - 題名（日本語・英語）
サブタイトルには、前後にダブルハイフオン（-）を付けてください。
 - 施設名・所属（日本語・英語は筆頭者所属のみ）
所属の異なる場合は改行し、先頭に1)、2)の番号を付けて記載してください。
 - 著者および共著者
所属の異なる場合は、名前の右端上に、名前¹⁾、名前²⁾のように番号を付けて区別してください。参考文献として使用される場合、共著者が3名以上のときには、最初の2名（著者を含む）と、最後の1名が通常記載されますので、共著者の記載順位には特に留意してください。
 - 連絡先
筆頭者の郵便番号、住所、所属、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを記載してください。
- 要旨と索引用語
 - 原稿の2頁目には、結果を簡潔にまとめた480字（32字×15行）以内の要旨（和文）と索引用語（Key words）を記載してください。Key wordsは、日本語と英語で記載してください。（注…Key wordsの日本語は5用語以内とします。ただし、1用語は10字以内です。）
 - 原著は、400 words 以内の英語要旨も記載してください。
- 原稿執筆の順序（原稿の3頁目から）
 - 見出し番号は、以下のようにしてください。
 - I. _____ ……見出し
 1. _____ ……小見出し
 - 1) _____
 - 研究論文、研究速報および症例報告の記載は、

以下のようにしてください。ただし、研究方法については、対象、症例、方法は別々でも構いません。

- I. 緒言 (はじめに、まえがき)
- II. 研究方法 (対象、症例、方法)
- III. 研究結果 (結果)
- IV. 考察
- V. 結論 (結語、まとめ、おわりに)
 - 参考文献……………20以内とする。
 - 図表表題一覧……図表の表題を1枚の原稿用紙にまとめたもの。
 - 図表……………図表は、それぞれ1枚を原稿用紙1枚に印刷する。

8. 参考文献の記載方法

本文中の参考文献番号は、右肩付文字で下記の要領で記載してください。共著の場合は、その氏名を3人(最初の2名と最後の1名)とし、3名以外の扱いは、[例] 3人目の氏名、ほか:]と記載してください。

1) 文献の本文中への番号記入例

- (1) 文献が単一の場合
→ 山田らの報告では¹⁾、
- (2) 文献が複数の場合
→ 赤血球変形亢進については^{1,2,6)}
- (3) 文献が連続で複数の場合
→ 一般的に言われている⁷⁻¹⁰⁾

2) 参考文献の書き方

(1) 雑誌の場合

著者名, 共著者名, 共著者名, ほか: 論文題名. 雑誌名, 巻(号); 初頁-終頁, 発行年.

例) 酒井 敬, 榎 成彦, 早田展章, ほか: 急性心筋梗塞を合併した左室破裂の治療と予防. 日胸外会誌, 46 (12); 1039-1042, 1992.

例) Kopp KF, Gutch CF, Kolff WJ, et al.: Single needle dialysis. Trans Am Soc Artif Intern Organs, 18: 75-90, 1972.

(2) 単行本の場合

著者名: 書名. 版, 出版地, 出版社, 発行年, 初頁-終頁.

例) 木全心一: 右室機能とその評価法. 初版, 東京, 中外医薬社. 1986. p133-138.

例) 草川 實 編 (または監): 体外循環の実際. 初版, 東京, 南江堂. 1991. p5-22, p197-206.

例) Stern C. (田中克己訳): 人類遺伝学. 15 版, 東京, 金原出版. 1988. p230-348.

例) Pichlmayr RJ: Liver transplantation and impending hepatic failure. Pichlmayr RJ. (ed by Schmidt FW.): Liver transplantation and hepatic failure. Berlin, Springer-Verlag.

1981. p322-348.

(3) オンラインリソースの場合

発行機関 (団体), タイトル, 発行年月日, 利用ページ, URL, アクセス年月日.

例) 厚生労働省医薬食品局安全対策課, 人工心肺装置の標準的接続方法とそれに応じた安全教育等に関するガイドライン, 今後の人工心肺操作教育のあるべき姿, p87-93, 平成 19 年 3 月, <http://www.mhlw.go.jp/topics/2007/04/dl/tp0427-10-16.pdf>. Accessed 23 June 2016.

3) 論文品質を考慮し、編集委員会では当学会誌や他誌の大会抄録、地方会大会抄録、レター、ノート、コメントなどの文書は認めない場合があります。ご注意ください。

9. 図表の規定 (写真は図として扱う)

- 1) 図表に使用する文字は、すべて MS 明朝体を使用してください。
- 2) 図と表は、パソコンによる作図とし、汎用アプリケーションに貼り付けて提出してください。なお、編集部において専門業者による作図を要すると判断した場合は、著者にこの旨を確認のうえ、著者の実費負担とします。
- 3) 大きな図表 (2,300 文字相当) の大きさは、A4 用紙 1 頁以内に収まるものとしてください。
- 4) 表の縦の罫線は、原則として省きます。横の罫線もできる限り省略してください。行間は、本誌の行間と同じ程度 (2 mm) にしてください。写真のファイルは JPEG とし、製本時の白黒グレースケールへの変換と明暗調整に留意して作成してください (カラー写真は不可とします)。また、矢印、スケールなどは、図表の中に焼込むか、編集部にご相談ください。提出する図表は、投稿者自身が決めた大きさと掲載も可能です。編集部にご相談ください。
- 5) 図表の掲載位置は、およその場所を本文中の右欄外に、図 1、表 1 のように赤のペンで朱記してください。
- 6) 図表は、A4 用紙 1 枚にそれぞれ 1 枚ずつ印刷し、表題は、図は図の下に、表は表の上に、また、表の注記は表の下にそれぞれ記載してください。更に、各表題は別紙にまとめ、下記のようにそれぞれ通し番号を付けて図表表題一覧を作成してください。

- 例) 図 1 体外循環回路
図 2 患者各部の温度変化
表 1 患者背景
表 2 人工肺の仕様

10. 著作権について

掲載された論文の著作権は日本体外循環技術医学会が保有し、一般社団法人学術著作権協会に管理委託を行います。論文採択後、学会より著作権受託書が郵送されますので、必要事項を記入の上、返送してください。

11. 臨床研究の利益相反 (conflict of interest : COI) 開示について

- 1) 本学会ホームページ (会員専用ページ) に掲載の「COIに関する指針」に従い、当該研究論文の著者および共著者のCOI状態を適切に開示するものとします。
- 2) COI状態にある場合は、所定の様式に則って申告してください。
- 3) 論文の末尾 (「結語」と「参考文献」) の間に、COI状態の有無を必ず記載してください。

【COI状態にある場合の記載方法】

著者名：営利団体名。他の著者に開示すべきCOIはない。

【COI状態にない場合の記載方法】

本稿のすべての著者には規定されたCOIはない。

12. 別刷りに関して

原著、解説、総説、研究論文に50部を無料にて進呈致します。ただし、進呈数以上を希望される場合および大会で発表した論文は出版社規定の料金とさせていただきます。著者校正稿で申し込みください。

13. 原著論文の採択

- 1) 論文は和文または英文で作成し、英文の場合は和論文 (re-make 版) を編集部まで同時投稿してください。和論文を Re-make した英論文は会誌掲載から1年以内とします。
- 2) 原著論文の査読審査は、非会員 (有識者) の査読委員が行います。
- 3) 採択通知後、著者から英語要旨 (Abstract) を執筆者の責任で専門業者の確認書または内容証明書を編集部にお送りいただきます。最終書類の到着をもって、論文採択日とします。
- 4) 原著論文は図表注釈の英語記載 (100 words 以内) も可とします。編集部と掲載について協議してください。
- 5) 和英双方の論文は、英語タイトル、著者、共著者、論旨、参考文献などすべて合致させてください。

14. 原稿の郵送

- 1) 原稿の送付は、原本1部 (原著はコピー2部も

必要) 他に、題名、施設名、所属、著者および共著者、連絡先、和文要旨、索引用語、本文、参考文献、図表、図表の表題一覧などの電子データを収録したCD-RまたはDVD-R (使用OS明記のこと) を下記、編集部にお送りください。

- 2) 送付された原稿が編集部が届き、開封後の必要書類の確認をもって、論文受領日とします。
- 3) 送付していただいた投稿原稿、記録されたディスクは著者に返却しません。編集部で責任をもって処分させていただきます。ただし、原著が不採用の場合、お送りいただいた書類・ディスクは、返却させていただきます。

15. 電子投稿

- 1) 原著論文以外に限って、Emailの添付データとして投稿を受け付けます。受稿トラブル防止のため送信前にあらかじめ下記編集部までメールでご連絡ください。
- 2) 論文本体は、標準的なソフトで作成し、お送りください。電子データは、作業処理後に編集部で責任をもって処分させていただきます。
- 3) 「原稿投稿時チェックリスト」および「進捗表」は会誌またはHPからプリントアウトされ、必要事項記入後にPDF化などされ、電子データで添付してください。

16. その他の注意

- 1) 当学会投稿査読中に他の学会誌、商業誌などへ同内容の論文や記事を投稿しないようお願いいたします。海外学会誌への投稿も同様です。
- 2) 図にメーカーカタログの写真を転用される場合は必ず許可を得て、図の注釈に引用先を明示してください。また他誌、Webからの図表の引用も必ず製作者、著者の許可を得て、引用先を明記してください。
- 3) 医療機器、診療材料などの臨床使用評価や性能比較報告の際は、メーカーの営業活動を妨害しないよう配慮して作成してください。
- 4) 投稿論文の中には特許権に抵触する知見報告も散見します。ご注意ください。

《JaSECT編集部》

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3-35

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

臨床工学技術課内

開 正宏

TEL : 052-481-5111 (内線 448836)

E-mail : jasect_hensyu@jasect.jp